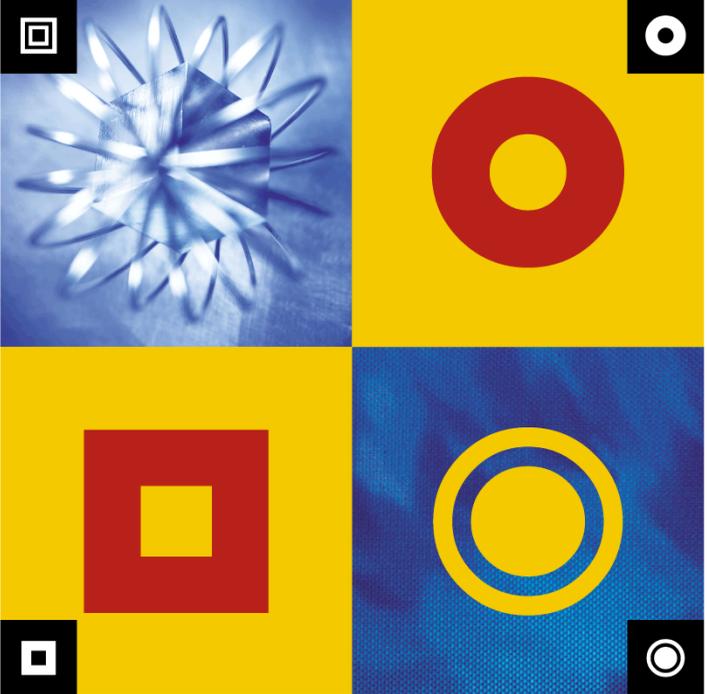


J A V A <sup>TM</sup> A D D - I N



イ ン ス ト ー ル ・ ガ イ ド

# WinnerRunner

# WinRunner Java™ Add-in

## インストール・ガイド

Version 7.6

## WinRunner Java Add-in インストール・ガイド, Version 7.6

本マニュアル, 付属するソフトウェアおよびその他の文書の著作権は, 米国著作権法, および各国の著作権法によって保護されており, 付属する使用許諾契約書に基づきその範囲内でのみ使用されるものとします。Mercury Interactive Corporation のソフトウェア, 5,701,139; 5,657,438; 5,511,185; 5,870,559; 5,958,008; 5,974,572; 6,138,157; 6,144,962; 6,205,122; 6,237,006; 6,341,310; 6,360,332, 6,449,739; 6,470,383; 6,477,483; 6,549,944; 6,560,564; および 6,564,342。その他の特許は米国およびその他の国で申請中です。すべての権利は弊社に帰属します。

ActiveTest, ActiveTune, Astra, FastTrack, Global SiteReliance, LoadRunner, Mercury, Mercury Interactive, Mercury Interactive のロゴ, Open Test Architecture, Optane, POPs on Demand, ProTune, QuickTest, RapidTest, SiteReliance, SiteRunner, SiteScope, SiteSeer, TestCenter, TestDirector, TestSuite, Topaz, Topaz AIMS, Topaz Business Process Monitor, Topaz Client Monitor, Topaz Console, Topaz Delta, Topaz Diagnostics, Topaz Global Monitor, Topaz Managed Services, Topaz Open DataSource, Topaz Real User Monitor, Topaz WeatherMap, TurboLoad, Twinlook, Visual Testing, Visual Web Display, WebTest, WebTrace, WinRunner および XRunner は, 米国の Mercury Interactive Corporation または Mercury Interactive Corporation の 100% 子会社である Mercury Interactive (Israel) Ltd. またはその他の国の Mercury Interactive Corporation の子会社の商標または登録商標です。

その他の企業名, ブランド名, 製品名の商標および登録商標は, 各所有者に帰属します。Mercury Interactive Corporation は, どの商標がどの企業または組織の所有に属するかを明記する責任を負いません。

Mercury Interactive Corporation  
1325 Borregas Avenue  
Sunnyvale, CA 94089 USA  
Tel: (408) 822-5200  
Toll Free: (800) TEST-911, (866) TOPAZ-4U  
Fax: (408) 822-5300

© 2003 Mercury Interactive Corporation, All rights reserved

本書に関するご意見やご要望は [documentation@merc-int.com](mailto:documentation@merc-int.com) まで電子メールにてお送りください。

---

# 目次

はじめに .....	1
システム構成 .....	1
Java アドインをインストールするシステムでの準備作業 .....	2
アドインの衝突と依存関係について .....	2
<b>Java アドインのインストール .....</b>	<b>3</b>
セットアップ・プログラムの実行 .....	3
Java クラスの復元 .....	10
Java アドインのライセンス設定 .....	13
Java をサポートした WinRunner の起動 .....	16
<b>Java アドインの無効化とアンインストール .....</b>	<b>19</b>
Java アドインの一時的な無効化 .....	19
Java アドインのアンインストール .....	22



---

# はじめに

Java アドインのインストールを始める前に、以下をお読みください。

本章では、以下の項目について説明します。

- ▶ システム構成
- ▶ Java アドインをインストールするシステムでの準備作業
- ▶ アドインの衝突と依存関係について

## システム構成

WinRunner Java Add-in を正しく実行するには、システム構成が WinRunner 7.6 の要件 (WinRunner 7.6 Readme ファイルに記載) に適合していることに加え、アドインに固有の次の要件を満たしている必要があります。

**必要ディスク容量** 7～9 MB の空きディスク領域 (WinRunner 本体に必要な容量に加えて、選択するコンポーネントによっても異なります)。

**前提条件** WinRunner 7.6 のスタンドアロン・インストール。

**サポートされているブラウザ** WinRunner (WebTest アドイン) によってサポートされている Java 仮想マシンを使用するブラウザはすべて Java アドインでもサポートされています。

---

**注：** WinRunner のネットワーク・インストールで Java アドインをインストールすることはできません。

ネットワークを通じて Java アドインをインストールする場合は、インストール前にインストール・ドライブの割り当てを行い、割り当てたドライブからインストールを実行してください。

---

---

**Windows 98/Me ユーザへの注意：autoexec.bat** ファイル内の CLASSPATH 変数が 400 文字を超える場合は、Java アドインをインストールする前に、その行を 400 文字より少なくなるように修正してください。また、Windows ME で CLASSPATH 変数を変更した場合は、Java アドインをインストールする前にコンピュータを再起動する必要があります。これは、Windows ME では、**autoexec.bat** ファイルの環境変数に加えられた変更を監視する特別な仕組みが使用されており、再起動をしたときのみ、レジストリが更新されるからです。

---

## Java アドインをインストールするシステムでの準備作業

Java アドインをインストールする前に、WinRunner 7.6 のスタンドアロン・インストールを行う必要があります。

### Java テストの前提条件

Netscape 4.x の組み込み JVM（Java Plug-in ではなく）でアプレットのテストを実施する場合は、Java アドインをインストール前にブラウザをインストールしておく必要があります。

Netscape 4.x を再インストールする場合は、Java アドインを再インストールする必要があります。ただし、再インストールの前に、すべてのブラウザ、Java アプリケーション、および WinRunner を必ず終了してください。

## アドインの衝突と依存関係について

WinRunner のアドインは、WinRunner がインストールされている単独のコンピュータにインストールできます。WinRunner を起動するたびに、どのアドインをロードするかを選択できます。特定のアドインをロードすると、他のアドインに対するサポートが影響を受けることがあります。複数のアドインをロードした場合に生じる可能性のある衝突に関しては、「Compatibility Issues」のヘルプ（< WinRunner のインストール・パス > \dat\conflict.hlp）を参照してください。

---

# Java アドインのインストール

本章では、WinRunner Java Add-in のインストールおよびセットアップ方法について説明します。WinRunner Java Add-in のインストールおよびセットアップ手順では、次の作業を行います。

- ▶ セットアップ・プログラムの実行
- ▶ Java クラスの復元
- ▶ Java アドインのライセンス設定
- ▶ Java をサポートした WinRunner の起動

## セットアップ・プログラムの実行

セットアップ・プログラムは、Java アドイン・サポートを WinRunner のインストール・フォルダと **Common Files¥Mercury Interactive¥SharedFiles¥JavaAddin** フォルダにインストールします。このフォルダが存在しない場合は、作成されます。

---

**注：**Java アドインをインストールするには、管理者権限を持つユーザ（使用するオペレーティング・システムに該当の権限がある場合）としてログインする必要があります。

Java アドインのインストールを始める前に、2 ページ「Java アドインをインストールするシステムでの準備作業」を必ずお読みください。

---

Java アドイン・セットアップ・プログラムを実行するには、次の手順で行います。

- 1 WinRunner のインスタンス、Web ブラウザ、Java アプレットまたはアプリケーションを実行するプログラムをすべて終了します。
- 2 CD-ROM ドライブに CD-ROM を挿入します。CD-ROM ドライブがローカル・コンピュータにある場合、セットアップ・ウィンドウが開きます。ネットワーク・ドライブからインストールする場合、そのドライブに（割り当てを行って）接続してください。CD-ROM のルート・フォルダにある **autorun.exe** をダブルクリックします。WinRunner Java Add-in セットアップ・ウィンドウが開きます。



WinRunner Java Add-in セットアップ・ウィンドウには、次の選択肢があります。

- ▶ **アドインのインストール**：Java アドイン・セットアップ・プログラムの実行を開始します。

- ▶ **最初にお読みください**：Java アドインの「最初にお読みください」ファイルを開きます。
  - ▶ **インストールガイド**：Adobe Reader 形式の『**Java アドイン・インストール・ガイド**』を開きます。この選択肢の下にあるリンクをクリックして、<http://www.adobe.co.jp> から Adobe Reader をダウンロードできます。
  - ▶ **製品情報**：製品情報サイト (<http://www.mercury.co.jp/products/winrunner/>) が表示されます。
  - ▶ **サポート**：マーキュリー・インタラクティブの顧客サポート Web サイト ([http://www.mercury.co.jp/service\\_support/](http://www.mercury.co.jp/service_support/)) が表示されます。
  - ▶ **CD の参照**：Java アドイン CD-ROM の内容が表示されます。
  - ▶ **終了**：セットアップ・ウィンドウを閉じます。
- 3 Java アドイン・セットアップ・プログラムを開始するには、[アドインのインストール] をクリックします。WinRunner Java Add-in セットアップ・プログラムが起動します。
- 4 [ようこそ] 画面の内容を確認し、[次へ] をクリックします。[セットアップのタイプを選択] 画面が開きます。



- 5 セットアップの種類を選択し、[次へ] をクリックします。

[標準] を選択した場合、手順 7 に進んでください。[カスタム] を選択した場合、次の手順に進んでください。

- 6 WinRunner のインストール先フォルダを指定します。表示されたフォルダとは別のフォルダに WinRunner をインストールしたい場合、[参照] をクリックして正しいフォルダを指定します。



[次へ] をクリックします。

- 7 Mercury Interactive Updates Server で Java アドインのアップデートを検索する場合、[ダウンロード オプション] 画面で [ダウンロード WinRunner Java Add-in パッチ] を選択します。Java アドインのアップデートが見つかったら、現在のセットアップ・プログラムはアップデートを適用しながら処理を続行します。インターネットに接続しない場合、このオプションの選択を解除すれば、インストール用 CD-ROM に収録されている環境を使用してインストールが続行されます。

**注：**可能な場合は、セットアップ・プログラムでアップデートをダウンロードし、最新版のアップデートを適用してインストールを行うことをお勧めします。

この画面では、いったん **[次へ]** をクリックすると、**[戻る]** をクリックして選択の内容を変更することはできません。選択の内容を変更したい場合は、いったんセットアップを中止して、セットアップ・プログラムを再度実行します。



**[次へ]** をクリックします。標準インストールを行っている場合、手順 10 に進んでください。それ以外の場合、次の手順に進んでください。

- 8 使用する Java 環境を選択します（複数も可）。



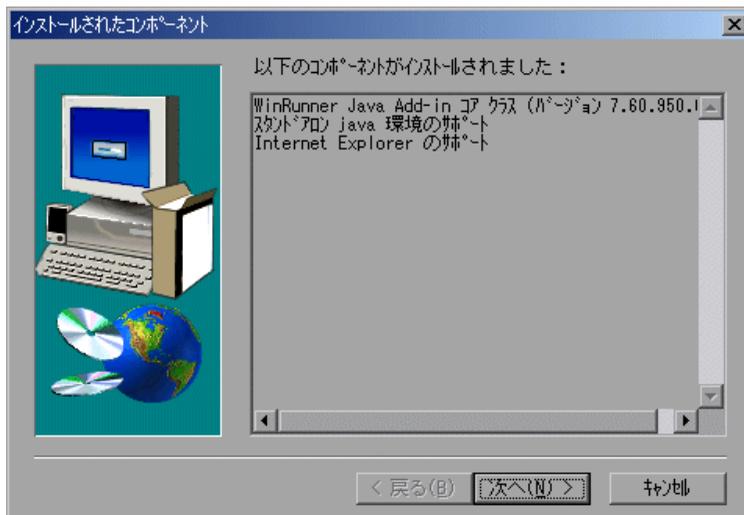
[次へ] をクリックします。

- 9 インストール処理が始まります。インストール処理を一時停止または中止するには、[キャンセル] をクリックします。

- 10 プログラム・フォルダを選択します。標準設定のフォルダは WinRunner です。  
[次へ] をクリックします。

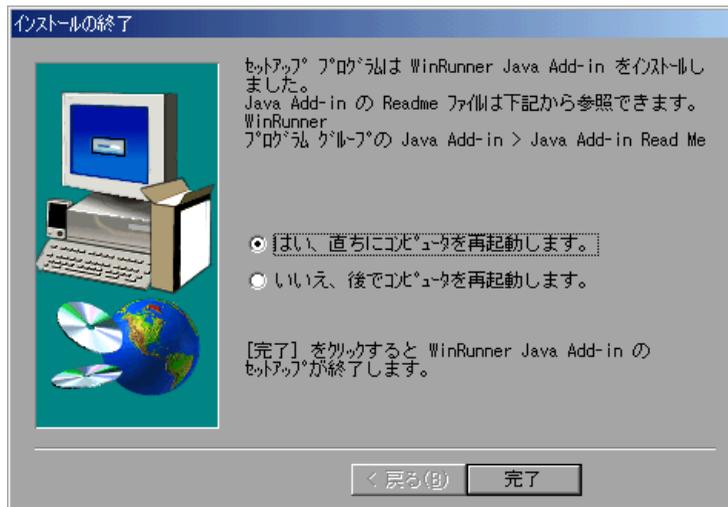


- 11 [インストールされたコンポーネント] 画面が開き、インストール時に正しくインストールされたコンポーネントが報告されます。



[次へ] をクリックします。

12 [完了] をクリックして、インストール処理を完了します。



注：Java アドインを使用する前に、コンピュータを再起動する必要があります。

## Java クラスの復元

WinRunner Java Add-in のバージョン 7.5 以前からのアップグレードの場合、または、QuickTest Professional のバージョン 5.6 以前がインストールされている場合、コンピュータ上に旧バージョンが部分的に残ることがあります。このような場合、WinRunner 起動時に表示される [WinRunner アドインマネージャ] ダイアログ・ボックスの [ロードするアドインを選択してください] ボックスで「Java」が選択されている状態で、サポートされている Java アプリケーションを実行しようとする、次のような警告が表示されます。



この警告が表示された場合は、Java アドイン旧コンポーネント・アンインストール・ツールを実行する必要があります。

**Java アドイン旧コンポーネント・アンインストール・ツールの実行は、次の手順で行います。**

- 1 [スタート] メニューから [プログラム] > [WinRunner] > [Java Add-in] > [Java Old Components Uninstall Tool] を選択します。[環境の選択] 画面が開きます。
- 2 旧バージョンの Java アドインのインストール対象となっていた環境を選択します。[Java Development Kit クラス] と [Java Runtime Environment クラス] の一方または両方を選択します。



[次へ] をクリックします。

- 3 [JDK インストール先] (または [JRE インストール先]) 画面が開きます。パスを入力するか、[参照] ボタンを使用して、JDK/JRE の復元先を選択します。



[次へ] をクリックします。

- 4 JDK と JRE の両方のクラスを復元するように選択した場合、[JDK インストール先] 画面の後に [JRE インストール先] 画面が開きます。パスを入力するか、[参照] ボタンを使用して、JRE の復元先を選択します。復元処理が始まります。

- 5 処理が完了すると、[復元された環境] 画面が開き、復元するよう選択した JDK/JRE 環境が表示されます。



[次へ] をクリックします。

- 6 [セットアップの完了] 画面が開きます。[完了] をクリックして、アップデートを完了します。

## Java アドインのライセンス設定

WinRunner の外部アドイン (別途購入) を利用するには、シート・ライセンス・コードまたはコンカレント・ライセンス・コードが別途必要です。シート・ライセンスの場合、[WinRunner アドイン マネージャ] ダイアログ・ボックスの [アドイン ライセンス] ボタンをクリックして、ライセンスの詳細を入力します。コンカレント・ライセンスの場合、Mercury 機能テスト・コンカレント・ライセンス・サーバのコンピュータにアドインのライセンスをインストールします。



---

**注：**アドインのライセンスがまだインストールされていない場合、当該アドインは、[WinRunner アドイン マネージャ] ダイアログ ボックスに [ライセンスなし] と表示されます。[ライセンスなし] と表示されていない場合、アドインのライセンスはすでにインストールされており、再度インストールする必要はありません。

---

- 2 [アドイン ライセンス] をクリックします。[WinRunner ライセンスのインストール - ようこそ] ウィンドウが開きます。

---

**注：**[アドイン ライセンス] ボタンは、WinRunner のシート・ライセンスがインストールされている場合にのみ表示されます。

---

アドインのライセンスのインストール手順は、WinRunner のライセンスのインストール手順と同じです。詳細については、『**WinRunner インストール・ガイド**』を参照してください。

## Java をサポートした WinRunner の起動

Java アドインの有効化は、次の手順で行います。



- 1 [スタート] > [プログラム] > [WinRunner] > [WinRunner] を選択します。[WinRunner アドイン マネージャ] ダイアログ・ボックスが開きます。

([WinRunner アドイン マネージャ] ダイアログ・ボックスが表示されない場合、17 ページに記載されている [WinRunner アドイン マネージャ] の表示方法に関する注を参照してください。)



- 2 [Java] を選択します。
- 3 [OK] をクリックします。WinRunner が、Java アドインをロードした状態で開きます。

---

注：

[アドインマネージャ] ダイアログ・ボックスが表示されない場合には、次の手順を行います。

- 1 WinRunner を起動します。
- 2 [ツール] > [一般オプション] の [一般設定] カテゴリ内にある [起動] サブカテゴリで、[アドインマネージャを起動時に表示する] を選択してください。[アドインマネージャを非表示するまでの経過時間：\_\_ 秒] ボックスに、アドイン・マネージャを表示する秒数を入力します（標準設定は **10** 秒です）。
- 3 [OK] をクリックします。
- 4 WinRunner を終了します。加えた変更を保存するかどうか確認を求める WinRunner メッセージ・ボックスが表示されます。[はい] をクリックします。

---

アドイン・マネージャの詳細については、『**WinRunner ユーザーズ・ガイド**』を参照してください。



---

# Java アドインの無効化とアンインストール

WinRunner を Java アドインなしで使用する場合、アドインを一時的に無効にするか、または、アンインストールするという選択肢があります。

## Java アドインの一時的な無効化

Java アドインを一時的に無効にするには、アプリケーションと WinRunner の両方で Java アドインのサポートを無効にする必要があります。

### アプリケーションでの Mercury Java サポートの無効化

アプリケーションにおいて Java アドインを一時的に無効にするには、次の方法があります。

- ▶ Mercury Java サポート起動ツールを使用する
- ▶ **mercury.properties** ファイルでツールキットのサポートを無効にする

### Mercury Java サポート起動ツールの使用

WinRunner Java Add-in（またはその他の Mercury Java ツール）をインストールすると、タスク・バー・トレイに Mercury Java サポート起動ツール・アイコンが表示されるようになります。このアイコンは、Mercury Java サポートが有効になっていることを示します。サポートされている Java アプリケーションまたはアプレットがすべて、Mercury Java サポートが有効な状態で開きます。



このアイコンをクリックして、Mercury Java サポートを一時的に無効にできます。Mercury Java サポートが無効になっていると、Java アプリケーションおよびアプレットは Mercury Java をサポートしない状態で開きます。



Mercury Java サポートを一時的に無効にする方法としては、こちらの方法をお勧めします。

### mercury.properties ファイルの使用

Netscape 4.x の組み込み JVM における Java アドインのサポートを無効にするには、**mercury.properties** ファイルでサポートを無効にする必要があります。

**mercury.properties** ファイルにおけるツールキットのサポートの無効化は、次の手順で行います。

- 1 テキスト・エディタで、**C:¥Program Files¥Common Files¥Mercury Interactive¥SharedFiles¥JavaAddin¥classes** にある **mercury.properties** ファイルを開きます。
- 2 **mercury.properties** ファイル内で、**mic\_toolkit=** で始まる行の前に # 記号を入れます。例：  
**# mic\_toolkit=AWT, JFC, VCAfe, KLG, Oracle**
- 3 ファイルを保存して閉じます。ファイル名にファイル名拡張子が追加されないように注意してください。
- 4 JDK または JRE を使用している場合は、**< JRE のインストール先フォルダ > ¥classes** フォルダにある **mercury.properties** ファイルを開き、このファイルを対象に手順 2 と 3 を行います。

## WinRunner での Java アドインのサポートの無効化

アプリケーションの Java のサポートを無効にすることに加えて、WinRunner の Java アドインのサポートも無効にする必要がある場合があります。

**WinRunner の Java アドインの一時的な無効化は、次の手順で行います。**

- 1 [スタート] > [プログラム] > [WinRunner] > [WinRunner] を選択して WinRunner を起動します。
- 2 初期画面の後、[WinRunner アドイン マネージャ] ダイアログ・ボックスが 10 秒間表示されます。

([WinRunner アドイン マネージャ] ダイアログ・ボックスが表示されない場合、17 ページに記載されている [WinRunner アドイン マネージャ] の表示方法に関する注を参照してください。)



- 3 Java のサポートを無効にするには、[Java] チェック・ボックスをクリアします。
- 4 [OK] をクリックします。WinRunner が、アドインのサポートが無効になった状態で開きます。

## Java アドインのアンインストール

Java アドインをアンインストールするには、[プログラムの追加と削除] ダイアログ・ボックスを使用した後、クラスパス変数を変更します。

Java アドインのアンインストールは、次の手順で行います。

- 1 [スタート] メニューから [プログラム] > [WinRunner] > [JavaJava Add-in] > [Uninstall Java Add-in] を選択します。あるいは、[アプリケーションの追加と削除] ダイアログ・ボックス ([スタート] > [コントロールパネル] > [アプリケーションの追加と削除]) で「WinRunner Java Add-in」を選択することもできます。
- 2 Java アドインとそのコンポーネントをすべて削除するかどうか確認を求めメッセージが表示されます。[はい] をクリックします。
- 3 アンインストール処理が完了したら、[OK] をクリックします。
- 4 クラスパスから < Mercury 共有ファイル・フォルダ > ¥JavaAddin¥classes のパスを削除します。
  - ▶ Windows 2000 または Windows XP で作業している場合、[スタート] メニューから [設定] > [コントロールパネル] > [システム] を選択します。[システムのプロパティ] ダイアログ・ボックスで、[詳細設定] タブをクリックしてから [環境変数] ボタンをクリックします。[システム環境変数] リストおよび [ユーザー環境変数] リストの両方で、< Mercury 共有ファイル・フォルダ > ¥JavaAddin¥classes がクラスパスに含まれていたら、それを削除します。たとえば、E:¥Program Files¥Common Files¥Mercury Interactive¥SharedFiles¥JavaAddin¥classes というようなパスが考えられます。[OK] をクリックします。
  - ▶ Windows NT で作業している場合、[スタート] メニューから [設定] > [コントロールパネル] > [システム] を選択します。[システムのプロパティ] ダイアログ・ボックスで、[環境] タブを選択します。[システム環境変数] リストおよび [ユーザー環境変数] リストの両方で、< Mercury 共有ファイル・フォルダ > ¥JavaAddin¥classes がクラスパスに含まれていたら、それを削除します。たとえば、E:¥Program Files¥Common Files¥Mercury Interactive¥SharedFiles¥JavaAddin¥classes というようなパスが考えられます。[OK] をクリックします。

- ▶ Windows 98 で作業している場合、任意の編集プログラムを使って < Windows のドライブ > ¥autoexec.bat ファイルを開きます。< Mercury 共有ファイル・フォルダ > ¥JavaAddin¥classes をクラスパスから削除します。たとえば、E:¥Program Files¥Common Files¥Mercury Interactive¥SharedFiles¥JavaAddin¥classes というようなパスが考えられます。ファイルを保存して閉じた後、コンピュータを再起動します。

これで Java アドインは完全にアンインストールされました。







マーキュリー・インタラクティブ・ジャパン株式会社  
〒105-0003  
東京都港区西新橋 2-38-5 西新橋 MF ビル 7 階

電話 : (03) 5402-9300  
ファックス : (03) 5425-2288

Web: <http://www.mercury.co.jp>  
カスタマー・サポート : [http://www.mercury.co.jp/service\\_support/](http://www.mercury.co.jp/service_support/)



\* WRJAVAI G7. 6JP/ 01 \*